

歴博くらしの植物苑だより

第97回 くらしの植物苑観察会 4月29日(日) 13:30から15:30 くらしの植物苑
下総の森とくらしの植物苑 鈴木 三男 (東北大学植物園)

当日は歴博みどりの日につき入苑無料

くらしの植物苑今週のみどころ 毎週更新 <http://rekihaku.ac.jp>

次回季節の伝統植物

“伝統の桜草”

4月17日(火)～5月6日(日)



桜草が咲き始めました。

サクラソウ *Primula sieboldii*

東アジアに分布し、高原の湿原地、平地の水辺。多年草だが夏以後は葉が枯れて休眠するのが著しい特性で、根茎で増える。江戸時代中頃から栽培が進み、多数の園芸品種がつけられた。

桜草の有償頒布 4月17日(火)～ 数に限りがありますのでご了承ください

9:30～12:30

1鉢500円

イロハモミジ (カエデ科カエデ属)

葉は掌状に5～7裂する落葉高木。枝先に暗赤色の小さな花が10数個、枝垂れてつきます。淡い緑の葉のなかに赤い花がめだちます。葉が小型で矮性のものは園芸品種として、江戸時代から楽しまれています。



ハクサイ (アブラナ科アブラナ属)

中国原産といわれています。サントウサイに属して、結球するものをハクサイとい
います。低温が続いて長日条件にあうと花芽を分化し始めます。

花はアブラナ科の黄色
の花をつけます。右は
全体像で、左は花だけ
です。



ハウレンソウ (アカザ科ハウレンソウ属)

西アジア原産の葉を食用にする1~2年草です。江戸時代には日本に入ったといわれ、
在来種の多くは種子にとげのある角種子種で秋まきタイプです、
明治以降導入された西洋種はとげのない丸種子種で春まきタイ
プです。あまり知られ

ていませんが雌雄異株
で右が雄株、左が雌株
です。



コクサギ (ミカン科コクサギ属)

山野の木の下に生える落葉低木で、1属1種の雌雄異株です。葉のつき方が一側に
2葉ずつ出す変則的互生(コクサギ型葉序)です。

右が雄株、左が雌株
です。木の傍にくる
と強い臭いがあります。



ハクサイ

ハウレンソウ

イロハモミジ

コクサギ

